HOMAS 日本語版 ニューズレター
Hokkaido/Massachusetts Society
北海道・マサチューセッツ協会　会報

No.48
平成１８年(2006 年)7 月 31 日発行
北海道・マサチューセッツ協会
会長　森本　正夫
発行所　〒060-0003
札幌市中央区北３条西７丁目
道庁別館 12 階
TEL011-231-3392　FAX 011-231-3666
発行人　中 垣 正 史
E-mail:homas@siren.ocn.ne.jp

今年 2006 年はクラーク博士ご一行来道 130 周年

ー曽孫スチューー・クラーク氏ご夫妻 9 月末来道の予定ー

ウィリアム・Ｓ・クラーク博士(1826－1886)は、優秀な教え子のウィリアム・ホイーラー(1851―1932)、デヴィド･Ｐ･ペンハロー(1854―1910)とともに、開拓使長官黒田清隆の招きにより、明治９年(1876)6 月来日、東京滞在後、7 月 25 日品川沖から開拓使御用船「玄武丸」に乗り、黒田清隆等とともに７月３０日午前 10 時 30 分小樽に到着。午後３時小樽上陸(1 泊)、翌 31 日（50 歳の誕生日)早朝馬に乗って出発、午前 10 時 40 分札幌に到着したといわれます。今年は、ちょうど来道 130 周年にあたります。

クラーク博士は、北海道開拓の人材育成のために開設された札幌農学校（8 月 14 日開校）の初代教頭となり、その翌年４月までの８ヶ月半その経営・指導に尽力され、そのキリスト教精神による人間教育は多くの学生に深い感銘を与えました。そして、明治 10 年(1877)4 月 16 日、学生・教授たち全員が見送る中、島松駅逓で、“Boys be ambitious!”の言葉を残して、馬にムチを当てて走り去りましたが、その高邁なクラーク精神はゆるぎないフロンティアスピリッツとして、今日までこの北の大地にしっかりと根付いています。

クラーク博士の札幌農学校初代教頭としての功績、その識見と人格が偉大であり、その高邁なクラーク精神は、直接その薫陶を受けた第一期生のみならず、それに続く学生たちにも深く浸透したのでした。クラーク博士の札幌農学校在職は８ヶ月半に過ぎませんが、帰国後も、師弟の絆は、多くの往復書簡に継続されています。

後に、「第４期国定教科書」の「小学国語読本」巻１１(昭８～昭 13)に、クラーク博士の胸像と「少年よ、大志を抱け」の言葉が紹介され、全国的に有名になりました。さらに、「第６期国定教科書」（昭 22～昭 24)の「国語第５学年中」・「国語第６学年下」にも、クラーク先生の言葉の紹介や同志社を開いた新島襄の恩師クラーク博士の説明があり、いっそう全国的に有名になったと考えられています。

その後、北大創基 50 周年・80 周年・100 周年などにクラーク博士をたたえる記念事業が実施されてきました。最近では、2001 年(平成 13 年)が来道 125 周年にあたり、9 月 27 日(木)～10 月 3 日(水)を「記念ウィーク」として、9 月 28 日(金)を中心に記念式典や記念講演などが行われました。　今年 2006 年の来道 130 周年は、特別の記念行事の計画はありませんが、クラーク博士の祖孫スチューー・クラーク氏ご夫妻が９月２８日から約１週間の予定で来道されます。スチューー・クラーク氏は米国アラスカ州スワード市の元市長の要職にあたった方で、今回の訪問は、帯広市とスワード市が姉妹提携(1968 年)の国際姉妹都市の関係にあるので、帯広市と札幌市に来訪される予定です。札幌では、北海道庁・北海道大学などの表敬訪問や交流行事、各地の観光・視察などが予定されます。帯広では、姉妹校流の歓迎セレモニーや交流行事・ホームステイ交流なども考えられているようです。

また今年７月には、コンコードグループ(代表 Dr. カーチン･11 名)が来札、郷土コンコードが誇りとしている札幌農学校第２代教頭ウィリアム・ホィーラーの設計した「時計台」（札幌農学校演武場)あや「モデルバーン(模範畜舎)」（北大構内)などを視察してまわり、来道 130 周年の歴史に感慨を深くしていました。

資料　北海道・マサチューセッツ協会　平成18年度理事会・総会

－平成18年5月9日・北方圏センター会議室－

平成１７年度　北海道・マサチューセッツ協会事業実績

1.　会　議

（1）平成１７年度理事会及び総会

5月10日（火）　　於　北方圏センター会議室

2.　広報活動

会　報　「HOMAS」ニューズレターの発行　　第４５・４６・４７号

3.　行　事・関連行事

（1）米国セミナー特別講演会　(マリー・シェーファー総領事急病により中止)

（2）国際交流ランチセミナーの実施（３回)

第１回　6月 25日(土)ＫＫＲ札幌レストランマイヨール（ゲスト12名､参加者39名)

第2回 11月 26日(土)　同　上　(ゲスト7名、参加者45名)

第3回　2月 18日(土)　同　上　(ゲスト9名、参加者38名)

（3）北海道を知る歴史発見の旅シリーズ(３回)

第1回　6月11日(土)　三角山・大倉山コース　(参加者14名)

第2回　7月16日(土)　円山公園北海道神宮境内歴史散策と円山登山（参加者13名)

第3回　9月 17日(土)　藻岩登山とお月見夕食会　(参加者24名)

（4）「ホーレス・ケプロン通り」道民フォーラム開催

8月27日（土）道庁赤れんが庁舎会議室　(参加者120名)

4．交流事業

○マサチューセッツ州関係訪問団の受け入れ

(1) ファイブカレッジセンター東アジア研究プログラム

北海道教育視察団　(22名)　6月29日（水）～7月3日(日)

(2)　コンコード訪問団　(11名)　6月27日（月）～7月6日(水)

○北海道・マサチューセッツ州姉妹提携15周年記念事業

2005年マサチューセッツ州訪問団の派遣　10月12日(水)～19日(水)　［ 8日間 ］

5、　資　料　　本道とマ州の関係資料・情報の収集

平成17年度　北海道･マサチューセッツ協会一般収支決算

Ⅰ　収 入

(単位：円)

科　　目	予 算 額	決 算 額	増　　減	摘　　要
会　　費	3,550,000	3,383,500	△ 166,500	
個 人 会 費	750,000	609,500	△ 140,500	
法 人 会 費	2,800,000	2,774,000	△ 26,000	
助 成 金	40,000	20,000	△ 20,000	
広 告 収 入	30,000	38,000	8,000	
雑 収 入	20,000	14,631	△ 5,369	利息･歴史発見の旅
前期繰越金	945,794	945,794	0	
合　　計	4,585,794	4,401,925	△ 183,869	

Ⅱ　支 出

科　　目	予 算 額	決 算 額	増　　減	摘　　要
事業費	780,000	668,684	△ 111,316	
会報発行費	140,000	99,119	△ 40,881	会報3回(印刷・送料)
セミナー開催費	100,000	70,000	△ 30,000	ランチセミナー3回
情 報 収 集 費	10,000	1,280	△ 8,720	参考文献
特別会計操出金	450,000	450,000	0	マサチューセッツ州訪問団旅費
訪問団受入費	80,000	48,285	△ 31,715	小グループ受け入れ
会 議 費	5,000	2,502	△ 2,498	理事会・総会
運営費	3,750,000	3,515,785	△ 234,215	
事 務 費	650,000	573,831	△ 76,169	事務用品費・通信費
人 件 費	3,100,000	2,941,954	△ 158,046	職員費･通勤手当･社会保険料等
予備費	50,974	24,000	△ 26,974	HP 作成
合計	4,585,974	4,210,971	△ 375,003	

Ⅲ　差引残高

4,401,925　－　4,210,971　＝　190,954　(次年度繰越金)

平成１８年度　北海道・マサチューセッツ協会事業計画

1. 会　員　　この数年、会員が減少の傾向にあるので、会員の増員と会の活性化に務める
（事務局の努力だけでは限界があり、役員・一般会員にも積極的なご協力をお願いしたい。）

2. 会　議　　2006年5月9日(火)　理事会・総会

3. 広報活動　　「ＨＯＭＡＳ」ニューズレター　第48・49・50号の発行

4. 行　事・関連行事

(1)　総会ミニコンサート
2006年5月9日(火)　（クラリネット奏者・渡部　大三郎氏他）

(2)　北海道を知る歴史発見の旅シリーズ
第1回　6月10日(土)　三角山・大倉山コース
第2回　7月15日(土)　円山公園・北海道神宮境内・円山登山コース
第3回　8月12日(土)　時計台・大通公園散策・札幌市資料館コース
第4回　9月 9日(土)　赤れんが・北３条通り・永山邸・開拓使麦酒醸造所コース
第5回　10月7日(土)　藻岩山・お月見夕食会コース

(3)　国際交流ランチセミナー
第1回　6月24日(土)　小樽歴史観光と交流昼食会(ヒルトン小樽特設レストラン)
第2回　10月28日(土)　ーテラスレストランKitaraー
第3回　 2月17日(土)　ーKKRホテル札幌レストラン「マイヨール」ー

(4)「ホーレス・ケプロン通り」道民フォーラム開催
9月2日(土)　道庁赤レンガ庁舎会議室

5. 交流事業

○マサチューセッツ州関係訪問団の受け入れ
(1)　第3回ノーブルズ高校短期交換留学プログラム(10名)　6月17日(土)～7月3日(月)
(2)　クラーク博士曽孫スチュー・クラーク氏来道予定　10月初旬(詳細未定)

○舞踏グループ「偶成天」のマサチューセッツ州公演　11月3日(金)～12日(日)
舞踏デュオ森田一踏・竹内実花氏は、10年間の国内海外公演の実績により、ダンスセラピーの分野で高い評価を受けている。今回は、ボストンとアムハーストで舞踏公演と講演・ワークショップを行う。

6. 資　料　　本道とマ州の関係資料・情報等の収集

平成18年度　北海道・マサチューセッツ協会一般会計 収支予算

Ⅰ　収 入

（単位：円）

科　　目	予 算 額	前年度予算額	増　　減	摘　　要
会　　費	3,200,000	3,550,000	△350,000	
個 人 会 費	600,000	750,000	△150,000	200口
法 人 会 費	2,600,000	2,800,000	△200,000	135口
助成金	20,000	40,000	△20,000	札幌国際プラザ
広告収入	30,000	30,000	0	
雑収入	30,000	20,000	10,000	預金利息他
前期繰越金	190,954	945,794	△754,840	
合　　計	3,470,954	4,585,794	△1,114,840	

Ⅱ　支 出

科　　目	予 算 額	前年度予算額	増　　減	摘　　要
事業費	185,000	780,000	△595,000	
会報発行費	80,000	140,000	△60,000	会報3回(印刷・送料)
セミナー開催費	60,000	100,000	△40,000	ランチセミナー3回
情 報 収 集 費	5,000	10,000	△5,000	参考文献
特別会計操出金	0	450,000	△450,000	
訪問団受入費	40,000	80,000	△40,000	小グループ受け入れ
会　議　費	5,000	5,000	0	理事会・総会
運営費	3,260,000	3,750,000	△490,000	
事 務 費	600,000	650,000	△50,000	事務用品費・通信費
人 件 費	2,660,000	3,100,000	△440,000	職員費･通勤手当･社会保険料等
予　備　費	20,954	50,794	△29,840	
合　　計	3,470,954	4,585,794	△1,114,840	

平成 18 年度　北海道・マサチューセッツ協会役員

（顧問）

北　海　道　知　事　　髙橋　はるみ
北 海 道 議 会 議 長　　髙橋　　文明
北海道市議会議長会 会　長　　大越　　誠幸
北海道町村会　　会　長　　寺島　光一郎
北海道町村議会議長会　会長　　川股　　博
在札幌米国領事館総領事　　マリー・シェーファー
北 海 道 大 学 総 長　　中村　　睦男
北 海 道 日 米 協 会 会 長　　有江　　幹男
㈶ 北海道体育協会　会 長　　堀　　達也
北海道経済連合会　　会 長　　南山　　英雄
㈳北海道商工会議所連合会会頭　　高向　　巖

（名誉会長）

北 海 道 大 学 名誉教授　　有江　　幹男

（会　　長）

日本私立大学協会 北海道支部長
学校法人北海学園理事長　　森本　　正夫

（副　会　長）

㈳北海道ＩＴ推進協会　会長　　山下　　司
北海道大学大学院情報科学研究科研究科長　本間　利久
北 海 道 経 営 者 協 会 会長　　佐々木　正丞
㈶秋山記念生命科学振興財団理事長　　秋山　　孝二
㈳北太平洋地域研究センター専務理事　　松江　　昭夫
北海道国際女性協会名誉会長　　阿部　　三恵

（常任理事）

㈱北海道新聞社代表取締役社長　　菊池　　育夫
北海道経済連合会専務理事　　大和田　　勲
㈳北海道商工会議所連合会専務理事　　向井　　慎一
北海道農業協同組合中央会常務理事　　永井　　則夫
㈳北方圏センター副会長兼専務理事　　町田　　真英

（理　事）

札 幌 医 科 大 学 学 長　　今井　　浩三
北海道教育大学 学長　　村山　　紀昭
㈶北海道開拓の村　理 事　　杉野目　康子
小 樽 商 科 大 学 学 長　　秋山　　義昭
北海道女性国際交流連絡協議会　会長　　谷本　美智子
㈳北海道建設業協会会長　　伊藤　　義郎

（理事）

㈳北海道生活衛生同業組合連合会会長　石川　　眞
北海道バイオ産業振興協会 会長　　冨田　　房男
北 海 道 経 済 同 友 会代表幹事　　坂本　　眞一
㈳ 北海道舗装事業協会　会 長　　中山　　健三
㈱ザ・グラス・スタジオ代表取締役　　淺原　千代治
伊藤組土建㈱取締役　　会 長　　伊藤　　義郎
岩田建設㈱代表取締役 社 長　　岩田　　圭剛
㈱ 札幌銀行取締役 頭 取　　吉野　　次郎
北海道ガス㈱ 取 締 役　社 長　　佐々木　正丞
北海道旅客鉄道㈱代表取締役社長　　小池　　明夫
㈱ 伊 藤 組 取 締 役 社 長　　伊藤　　義郎
北海道電力㈱ 取締役社長　　近藤　　龍夫
㈱ 北洋銀行　相談役　　武井　　正直
㈱ 北海道銀行取締役頭取　　堰八　　義博
北海道空港㈱ 取締役社長　　岡　　眞則
宮本商産㈱ 代表取締役　　宮本　　義雄
㈶北海道文化財団 理事長　　磯田　　憲一
㈶北海道体育協会専務理事　　松田　　光院
日本国際連合協会北海道本部長　　伊藤　　義郎
ﾗｲﾏﾝ･ｺﾚｸｼｮﾝ保存協力委員会常任委員　　関　　秀志
札幌テレビ放送㈱代表取締役社長　　鈴木　　輝志
㈱テレビ北海道代表取締役社長　　藤井　　実
北海道放送㈱代表取締役社長　　長沼　　修
北海道文化放送㈱代表取締役社長　　上澤　　孝二
滝　　川　　市　　長　　田村　　弘
七　　飯　　町　　長　　中宮　　安一
尚美流全日本和装協会北海道本部長　　上野　　紀世子
新都山流尺八聖琳社主宰　　中島　　聖山
国際寒地開発研究協会　顧問　　佐々木　晴美
北海道日米協会　庶務専務理事　　武藤　　順
北海道･マサチューセッツ協会事務局長　中垣　　正史

（監　事）

㈱カナリヤ　取締役　相談役　　渡辺　里代子
豊村光洋行政書士事務所所長　　豊村　　光洋

（平成 18 年 7 月 31 日現在）

平成 18 年度第 1 回 国際交流セミナー in 小樽 記録（抄）

テーマ　「新しい国際交流を求めて」～異文化理解のふれあい～

日 時　平成 18 年 6 月 24 日(土)　8:00～17:00
場 所　小樽市内観光　及び　ヒルトン小樽 6 階特設会場

ゲスト

ローラ　スピーゲル	（アメリカ）	（札幌市教委 ALT）	(F)
ケイト　ホルムズ	（アメリカ）	（札幌市教委 ALT）	(F)
デボラ　オルソン　ホルムズ	（アメリカ）	（ケイトさんの母親）	(F)
トモコ　グラハム	（日　　本）	（ノーブルズ高校教師）	(F)
イバン　ニエベス	（アメリカ）	（ノーブルズ高校教師）	(M)
ジェイク　タワー	（アメリカ）	（ノーブルズ高校学生）	(M)
オリビア　モントゴメリー	（アメリカ）	（ノーブルズ高校学生）	(F)
ボー　ハリングトン	（アメリカ）	（ノーブルズ高校学生）	(M)
ジリー　アンダーソン	（アメリカ）	（ノーブルズ高校学生）	(F)
ジョン　アン	（アメリカ）	（ノーブルズ高校学生）	(M)
カーラ　リディ	（アメリカ）	（ノーブルズ高校学生）	(F)
ネルソン　エリザベス　アメリア	（アメリカ）	（小樽商科大学留学生）	(F)
マシソン　マーカス　ウィリアム	（アメリカ）	（小樽商科大学留学生）	(M)
ミルザ　タミナ	（アメリカ）	（小樽商科大学留学生）	(F)

概要::　この国際交流ランチセミナーは、マサチューセッツ州とのつながりに基本理念を置き、2001 年(平成 13 年)から、広く多国籍の北海道在住外国人をゲストとしてお招きして、国際交流や異文化理解の問題を論じていただき、会員同志の意見交換・交流の場にもなることを目指しています。

今回は新企画・貸し切りバスの 1 日コースで、札幌市教委 ALT 2 名＋（母親 1 名）、ノーブルズ高校より 9 名、小樽商科大学留学生 3 名で、合計 15 名のアメリカ人ゲストをお招きして、小樽市内観光と昼食会を楽しみ、すばらしい国際交流の時間を共有していただきました。

ここには、ゲストのショートスピーチのみをご紹介します。今回の参加者は合計49名でした。(通訳は、当協会会員・関谷敏子さん)

ローラ　スピーゲル　　（アメリカ）　　札幌市教委ＡＬＴ（女性）

こんにちは、アメリカ・テネシー州出身のローラ・スピーゲルです。日本には２年間滞在していて英語を教えています。私が住んでいたテネシー州について少しお話したいと思います。

私は、国立公園の近くに住んでいましたが、周りにはたくさんハイキングやアウトドアをするところがあります。アメリカの高校で１年間スペイン語を教えていましたが、日本の高校とはたくさん違うところがあります。アメリカでは16歳になると運転免許証を取る事ができます。ある意味でアメリカの学生はとても独立していますが別の問題もたくさんあります。そういった違いを知りとても勉強になりました。

２年前に来日した時は日本語が全く話せなかったので、とても神経質になっていました。現在６歳になる息子と一緒に来日して、日本の保育園に通っていますが、日本語の上達が非常に早く、当初から何の問題もなく生活しています。その保育園では息子だけが外国人ですが、周りの皆さんがとても親切にしてくださり、感謝しています。

テネシー州についてよくわからない方もいらっしゃると思いますが、シンボル的なもので言うと「ジャックダニエル」というウイスキーがあります。その他では、カントリーミュージックやエルビスプレスリーもとても有名です。

今日はお招きいただきまして、ありがとうございました。

ケイト　ホルムズ　　（アメリカ）　　札幌市教委ＡＬＴ（女性）

こんにちは。私は中学校で英語を教えているので、中学生に話し掛けるのは慣れていますが、今日は少し緊張しています・・・改めまして、私はケイトと申します。今日は母も一緒に連れてきました。母は昨日の夜遅くに札幌に到着したので、少し時差ボケがあるようです。

私たちはバーモント州から参りました。バーモント州は環境問題に非常に熱心な州でもあります。自然がたくさんあり、北海道に似ています。湖もたくさんありますが、火山だけはありません。

趣味についてお話したいと思います。

私の１番大好きな趣味は、スノーボードです。６年間スノーボードを教えておりました。北海道で言うと、手稲ハイランドやルスツはスノーボードをするのにとても良いところですね。

私はバーモント州以外にこれほど大きな都市に住んだことがないのですが、札幌はとても自然に近いところがあるので、とても気に入っています。

小樽へは今回が２回目で、１回目は冬だったので、キャンドル祭を見る事ができました。今回はたくさんの所を訪れる事ができて、とても楽しかったです。ありがとうございました。

デボラ　オルソン　ホルムズ　　（アメリカ）　　ケイトの母

こんにちは。私はデボラです。私は旅行、ピアノを弾くこと、編物が大好きです。

グラハム　智子　　（日　　本）　　ノーブルズ高校教師

こんにちは。私たちはマサチューセッツ州のレダムという町からやってきました。今回で3度目の来札となりますが、毎回違う生徒を連れて来ています。札幌に来るのは本当にいつも楽しみです。道が広く、綺麗で食べ物もとても美味しいというイメージがあります。以前は三角山にも登らせていただきまして、大変感動致しました。そして今回は小樽にも連れてきていただきまして、北海道には札幌以外にも素晴らしいところがあるという事を教えていただき、次に待っているものは何だろうと今から楽しみにしています。

私たちの学校と札幌国際情報高校は姉妹提携をしました。これから先も末永く交流を続けていきたいと思っています。

これから簡単に一言ずつ挨拶をしてもらいたいと思います。

イワン　二エベス　　（アメリカ）　　ノーブルズ高校教師

こんにちは。はじめまして。イワン・二エベスです。演劇を教えています。

札幌に来る事が出来てとても嬉しいです。皆さん、今日は大変親切にしていただきありがとうございました。

それでは次に私たちのかわいい学生たちに挨拶をしてもらいたいと思います。

ジェイク　タワー　　（アメリカ）　　ノーブルズ高校学生

私はジェイクです。17 歳高校 3 年生です。日本語を勉強すると日本の文化を
北海道の食べ物が大好きで、人もとても親切だと思います。もっと日本語を練習したいので、私と日本語で会話してください。どうぞよろしくお願いします。

ジリー　アンダーソン　　（アメリカ）　　ノーブルズ高校学生

私はジリーです。16 歳高校 2 年生です。札幌の皆さんはみんな優しいですね。今日はどうもありがとうございました。

ボー　ハリングトン　　（アメリカ）　　ノーブルズ高校学生

こんにちは。私はボー・ハリングトンです。私も高校 2 年生で料理をすることが大好きです。私も同じ意見で、札幌の皆さんはとても親切だと思います。　どうもありがとうございました。

オリビア　モントゴメリー　　（アメリカ）　　ノーブルズ高校学生

こんにちは。オリビア・モントゴメリーです。16 歳で高校 2 年生です。音楽を聴いたり友達と一緒に何かをする事が大好きで、もちろん日本語も大好きです。小さい時から、日本語に興味がありました。　今日はどうもありがとうございました。

カーラ　リディ　　（アメリカ）　　ノーブルズ高校学生

こんにちは。カーラ・リディです。マサチューセッツ州出身です。今日はとても楽しいですし、小樽はとても綺麗な町だと思います。今日はどうもありがとうございました。

ジョン　アン　　（アメリカ）　　ノーブルズ高校学生

みなさん、こんにちは。ジョン・アンです。現在は 16 歳で、日本語は 2 年間勉強しています。札幌が大好きで、特に食べ物はとても美味しいと思います。ありがとうございました。

ボー　ハリングトン　　（アメリカ）　　ノーブルズ高校学生

こんにちは。ボー・ハリングトンです。15 歳高校 2 年生です。札幌の皆さんはとても優しいです。今日はどうもありがとうございました。

＜ノーブルズ高校によるビデオ紹介＞約 10 分のＤＶＤ上映―生徒が日本語で説明する―

マサチューセッツ州ボストンの南約 16ｋｍに位置するデダム。ノーブルズ高校のキャンパスの周りをチャールズ川が流れていて、林の中には鹿やコヨーテが棲んでいる。そういう自然に恵まれた中に、学校の各校舎が点在している様子が映し出される。学校本部の「キャッスル」の食堂、図書館、ビジュアルアーツの新校舎、野球場、サッカーコートなど。

また、朝の全校集会やキャンパスの道に絵を描くアートの日の生徒の様子。数学の授業風景や先生へのインタビュー。デダムの町の風景―デダム中学校・高校、建築中の新しい中学校、ラクロスの試合風景、住宅街、教会、裁判所、銀行、警察署、消防署、ピザ・アイスクリームショップ・コンビニ・コーヒーショップなどが上手に紹介されました。ワンダフル！！

ネルソン　エリザベス　アメリア　　（アメリカ）　　小樽商科大学留学生

みなさんこんにちは。エリザベスですが、リズと呼んでください。昨年 9 月に来日し、小樽商科大学に留学生として通い、経済学、日本語、マーケティングを勉強しています。８月に帰国予定です。小樽を大変気に入っています。今日はお招きいただきまして、ありがとうございました。

マシソン　マーカス　ウィリアム　　（アメリカ）　　小樽商科大学留学生

こんにちは。マーカスです。わたしも小樽商科大学の留学生で、日本に来て 9 ヶ月になります。日本での生活はとても楽しく、毎日様々な出来事があるので、とても充実しています。
日本に来て、異文化の違いをとてもよく感じます。今日ここにいらしている方々は、私よりも若い方が多いかと思いますが、これから先留学などで、他の国に行く機会があれば、積極的に出て、色々な経験をしてほしいと思います。

違う国で生活するという事は、自分の人生の中で大きな鍵を握るものだと思いますので、ぜひそのようなチャンスは掴み取ってほしいと思います。

日本はとても居心地が良く、人もとても親切で食べ物も美味しいので、異論を唱える人はいないのではないかと思います。

今日はこちらにお招きいただきまして、ありがとうございました。

ミルザ　タミナ　　**（アメリカ）**　　**小樽商科大学留学生**

皆さん、初めまして。ミルザ・タミナと申します。私も小樽商科大学の留学生です。今学期だけしかいませんが、ここに来るにあたり、両親が非常に反対していたので、自分にとってはとても大きなチャレンジでした。言葉の壁もありますし、性格的に照れ屋な部分があるので、とても心配していましたが、自分なりに一生懸命頑張っています。

そして、今回お招きいただきましてありがとうございました。

姉妹都市交流ニュース・・・七飯町とコンコード町

〔コンコード町民グループの交流訪問〕

マサチューセッツ州コンコードからトーマス・カーティンさんをリーダーに１１名の町民の方々が７月１日（土）から７日（金）までの１週間の日程で来町されました。一行は７月１日夕方到着し、威勢の良い七飯男爵太鼓のオープニングで始められた町民らの手作りによるポットラックパーティーで歓迎されました。２日の日曜日はホストファミリーとゆっくり過ごしていただき、３日には、七飯町役場を表敬訪問、その後町内施設を視察されました。来年は姉妹提携１０周年を迎えます。コンコード-カーライル高校スクールバンドが来町し、記念講演を予定しておりますが、その会場である七飯町文化センター大ホール（1,000 人収容）を下見しました。スクールバンドの指導者で指揮を務めるアルフレッド・デンティーノ先生は、舞台の音響設備について熱心に打合せをしました。そして、コンサートでジョイントを組む七飯高校吹奏楽局の練習にも参加、一つひとつの楽器の音を確かめながら、直接生徒へのアドバイスをしました。

今回訪問のコンコードの皆さんは全員が教育関係者であり、５日には、コンコードウィラード小学校の教員ナンシー・バレットさんとバーバラ・レーンさんによる交流授業を姉妹校の峠下小学校で、コンコード-カーライル高校の教員ディビット・ナレンバーグさんの交流授業を七飯高校で行いました。峠下小学校では、ウィラード小学校２年生の１日の様子をビデオで紹介し、算数ゲームや紙でヘリコプターを作って飛ばしたり、頭と体を使った楽しい授業を行いました。
最終日には、授業見学として、昨年コンコード訪問団として参加した大沼小学校の中田先生の担任している２年生の授業参観と、町立大中山保育所の子供たちと合唱やお遊戯で交流しました。ちょうど七夕祭りの準備という事で、笹の葉かざりの短冊に願い事を書いてみんなで飾りました。

コンコードのキーパーソンであるトーマス・カーティンさんは、この６月にコンコード-カーライル高校を退職され、同行してきた後任のディビット・ナレンバーグさんから、「みんなで築いてきた交流を今後も進め、コンコードと七飯町の友情を一層深めて行きたい。」とあいさつがありました。来年の姉妹提携 10 周年とコンコード-カーライル高校スクールバンド・七飯高校吹奏楽局のジョイントコンサートの成功に向け、両町の絆はより一層強く結ばれるものと確信しております。

事務局短信

平成18年度総会　ミニコンサート実施

去る5月9日(土)平成18年度北海道・マサチューセッツ協会総会に引き続き、ミニコンサート「渡部大三郎氏(クラリネット)と新村泰文氏(ドラムス)のコラボレーション」実施し大変好評を博しました。ここにお二人をご紹介して心より感謝申し上げます。(会場　(社)北方圏センター会議室　16:20～16:50　)

＜曲　目＞(1) 後藤　丹 作曲・クラリネットと小太鼓のための「道化役者」　(2) ジョージ・ガーシュイン作曲・ポギーとベスより「サマータイム」　(3) ストラビンスキー作曲・無伴奏クラリネットのための「三つの小品」

＜演奏者紹介＞渡部大三郎氏(クラリネット)　武蔵野音大・ボストン大を経て1978から2005年札響クラリネット奏者。ボストン響メンバーとの共同制作CD「北の音楽仲間」を始めソロ・室内楽でも活発な活動を続ける。札響ポップスで羽田健太郎との共演などジャズでも好評を博す。 現在、大谷短大及び北海道教育大講師。

新村 泰文 氏 (ドラムス) 友情出演　新進気鋭のドラム・パーカッション奏者。幼少時より和太鼓を学び、後にクラシックを通じ西洋打楽器の世界へ。ジャンルにとらわれない独自の音楽を創造。芸術鑑賞団体主催コンサート及び教育機関への招聘、また2005年ジルベスターコンサートでは札響と共演し絶賛される。現在、経専音楽放送芸術専門学校講師。

第3回ノーブルズ高校短期交換留学生一行来札

マサチューセッツ州ノーブルズ高校のグラハム先生・ニエベス先生と生徒7名が、予定通り6月17日(土)～7月3日(月)の日程で、札幌国際情報高校短期交換留学プログラムにより来札。当協会は、札幌あしり座の「人形浄瑠璃教室」(21日)、札幌東商業高校 (26日)、札幌市立真栄小学校訪問交流会(28日)などをお世話しました。また、24日(土)は1日コースの小樽市内観光で、小樽運河・旧日本郵船小樽支店・北のウォール街・小樽オルゴール堂などをめぐり、お昼はヒルトン小樽(総支配人秋山正人氏)での昼食交流セミナー。午後は、ザグラススタジオイン小樽(社長淺原千代治氏)訪問、旭展望台という充実した国際交流の一日となりました。

コンコードグループ11名来道

去る7月3日(月)～12日(水)の日程で、Ｄｒ.トーマス・カーチン氏を代表とするコンコードの先生方一行が、来道。3日(月)～7日(金)は七飯町姉妹交流訪問、7日(金)・8日（土）は登別温泉(白老ポロトコタン・アイヌ民族博物館など)、9日(日)～12日(水)が札幌市内視察・打ち合わせの日程でした。北大植物園(北方民族資料室・博物館)・中央卸売市場・北海道神宮・北大モデルバーン・北海道開拓記念館・開拓の村・藻岩山・芸術の森など、さらに小樽市内半日観光というハードな日程でした。今回の来札は2007年4月予定のコンコード・カーライル高校と札幌白石高校ブラスバンド合同演奏会(4月12日(木))の両校打合せが主目的で、あわせて、各地を視察。札幌デザイナー学院アニメスタジオも下見打合せをしました。来年約100名が来札予定。

新入会員紹介(2006年3月17日以降)　**＜個人会員＞**

葛西	俊治	竹内	実花	吉越	みや子	小島	啓一	品川	章司
嶋田	光恭	山本	昌弘	ジュンコ・カーグラ		菱田	淳		

＊＊

第 2回「”ホーレス・ケプロン通り ″愛称付与推進道民フォーラム」ご案内

日　　時　2006年9月2日（土）13：10～16:10
会　　場　道庁赤れんが庁舎会議室（2階）　(参加費無料)
主　　催　“ホーレス・ケプロン通り”愛称付与推進実行委員会 &北海道
(構成団体：愛称付与推進道民有志グループ、北海道日米協会、北海道・マサチューセッツ協会、沿道町内会、NPO日本都市計画家協会、(社)北海道観光連盟、(社)札幌観光協会　)
後　　援　在札幌米国総領事館、(社)北方圏センター、(財)札幌国際プラザ
プログラム　13:10―13:30　実行委員長挨拶・在札幌米国総領事館総領事挨拶
13:30－13:55　基調講演（佐々木晴美氏）
(休憩15分間)　交流ティータイム
14:10－14:25　室内楽演奏
14:30－16:00　パネルディスカッション
16:00－16:10　総括・アピール

◎　事前申込み（8月28日(月)まで)、当日参加も歓迎いたします。
参加ご希望の方は、北海道・マサチューセッツ協会事務局(TEL 011-231-3392　FAX 011-231-3666) あて「氏名・住所・電話番号・ＦＡＸ番号」明記の上、電話又はＦＡＸでお申込みください。